

令和7年度実施事業（令和6年度採択事業）

種別	行政提案型
提案団体	ながさきダンカーズ倶楽部
市担当課	市民協働推進室
事業名	共感を支援へつなげたい！リーダーの想いを届ける動画制作と発信
事業目的	改めて市民活動団体について広く知ってもらうために、団体の活動への思いや悩み等を共有できるような動画を制作し、これを用いた情報発信を行うことで、共感する企業を含む様々な主体の取り組みとのマッチングを図り、市民活動団体の支援につなげることを目的とする。
事業内容	<p>1. 活動団体の内容とリーダーの熱い想いを伝える動画を制作</p> <p>(1) 団体数：10団体以内</p> <p>(2) 動画について (10団体の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画は2Ver 作成 <p>①パイロット版：全10分。1団体1分。団体とリーダー紹介。団体へアクセス可能。</p> <p>②団体の活動やリーダーの想い：全50分。1団体5分。</p> <p>2. 多くの人たちに知っていただくための動画を活用した情報発信</p> <p>(1) DVD ディスクでさまざまな主体へ連携を提案する (企業、NPO、商店街、学校、地域コミュニティ連絡協議会、地域行政など)</p> <p>(2) SNS での拡散</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市民協働推進室、市民活動センター、ながさきダンカーズ倶楽部の HP にプラットフォームを置く ②多くの人に届く媒体：YouTube、LINE 他。
経費種別	委託料
総事業費	1,875,200 円
市負担額	1,875,200 円

種別	行政提案型
提案団体	一般社団法人トムテのおもちゃ箱
市担当課	水産振興課
事業名	ナガサキのサカナ魅力再発見事業
事業目的	小学生を対象に、「サカナ」をテーマとしたワークショップを実施し、地元長崎の豊かな食材としての「サカナ」についての理解を深め、身近な食材として再認識することを目的とする。同時に、全国でもトップシェアを誇る長崎の水産業についての学びを深めながら、自分達の住む町の魅力を再認識し、子ども達のシビックプライドを醸成することをも目的とする。
事業内容	<p>(1) 令和6年度に開発した「オサカナワークショップ」で活用するプログラムの改良を行う。</p> <p>(2) 「オサカナワークショップ」開催</p> <p>人気のカードゲーム『ギョッと』の長崎県版である『ギョッと長崎編』を活用し楽しく遊びながら、長崎のサカナ等豊かな水産資源や魚食についての理解を深めると同時に長崎の魅力について再認識できるようなワークショップを実施するほか、保護者向けの配布物等により家庭における魚食普及をめざし、子どもたちへの継続的なアプローチに努める。</p> <p>【学童クラブ向けワークショップ】</p> <p>対象：小学生 参加予定者数：40名/回 実施回数：20回 実施場所：主に市内学童クラブ</p> <p>※ワークショップを開催した学童クラブにおいては『ギョッと長崎編』で遊ぶ機会が増えるよう、人数に応じて『ギョッと長崎編』を追加配布する。</p> <p>【魚調理講習会コラボワークショップ】</p> <p>対象：小中学生及びその保護者 参加予定者数：8組程度/回 実施回数：3回 実施場所：市内公民館等</p> <p>※参加した世帯ごとに『ギョッと長崎編』を配布</p>
経費種別	委託料
総事業費	806,750円
市負担額	806,750円

種別	市民提案型
提案団体	ニュースタ長崎
市担当課	スポーツ振興課
事業名	医療系国家資格者によるスポーツの大会救護活動とケガ予防・運動能力向上事業
事業目的	スポーツの現場において、必要に応じトレーナーを配置する体制を定着させ、医療系国家資格者（柔道整復師・鍼灸師・理学療法士等）によるケガや事故発生時に最良の【初動】をおこない、スポーツの現場に関わるすべての人々が安心、安全に競技で躍動できる環境を創造する。また、体験型のセミナーを通して、ケガを未然に防ぐための知識と運動能力の向上を図る。
事業内容	<p>【大会救護トレーナー活動】中学の部の主要大会 スポーツの現場で、医療系国家資格（柔道整復師、鍼灸師、理学療法士等）を有したトレーナーがケガや事故発生時の対応をおこなう。</p> <p>(1)救急搬送の見極め (2)スポーツ傷害の応急処置 (3)アフターケア（その後のアドバイスや適切な医療機関へのご案内） ※令和6年度に実施した3競技への派遣は継続し、新たに1競技程度、派遣の追加を検討。</p> <p>【ケガ予防と運動能力向上セミナー】 選手・指導者・保護者等、スポーツに関わる方々に対し、スポーツ医科学的な視点からストレッチ、トレーニング、動作指導等、熱中症予防等の講義を行い、ケガの予防と運動能力向上をおこなう。</p> <p>(1)コーディネーション運動の実施で走能力、ジャンプ、俊敏性向上（動作バリエーション増加） (2)人間発達学・スポーツ医学的に運動経験の蓄積 (3)成長阻害因子の把握と除去 (4)自分の身体を知り、動くことへの興味を引き出す動きの引き出しを増やす。 (5)身体を動かす楽しさ、成功体験から運動有能感が高まり、苦手意識の克服。身体的ストレス軽減。</p> <p>・対象：小学生、中学生、学校関係者、指導者、保護者 ・年間3回実施 ・所要時間：90分（例.講習30分、実技60分）</p>
経費種別	補助金
総事業費	520,000円
市負担額	416,000円